

のびていこう

一本杉のように

やさしく かしこく たくましく



千葉市立本町小学校
校長 久保木 修



本校は、千葉市内でも最も歴史のある学校の一つとして、明治6年(1873年)、現在の千葉神社である妙見寺を仮校舎に「池田小学校」として開校し、明治40年に現在の地に移転しました。時代の推移により、何度か校名変更がなされましたが、昭和22年の新学制により「千葉市立本町小学校」と改称され、現在に至っています。

明治以来、子どもの自主性や主体性を大切にし、常に時代を先取りした教育研究・実践を積み重ねてきた本校の教育活動は、市内はもとより県下、全国的にも高い評価をいただいております。これは、歴代の教職員の研鑽と努力のみならず、保護者や地域の皆様の長年にわたる深いご理解と愛情あふれるご支援の賜物であると考えております。令和5、6年度の2年間、千葉市教育委員会の研究指定を受け、「学ぶことを楽しむ児童の育成～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



を通して～」を研究主題として研究実践を行ってきました。昨年12月に研究報告会を開催し、成果を報告したところです。

本校の正門脇には、明治40年の校舎新築記念樹「一本杉」があります。すでに100年以上の時間が経過していますが、風雪や戦火にも耐え、本校の教育活動や子どもたちの成長をあたたく見守り続けています。本校のシンボルであり、全校の児童から愛されています。今年もまた、美しい若芽が伸び始めました。

一昨年度実施した150周年を記念して作成したマスコットキャラクターも「すぎっぴー」と言います。(左下)

本校は4月1日現在、全校児童数 331名、特別支援2学級を含む14学級でスタートしました。校訓「自主 自律 自学」をもとに、学校教育目標を「人間性豊かな 自主的 創造的 実践力のある子どもの育成」とし、その具現化に向け、日々の教育活動を展開しています。

令和6年度も、一本杉のように子どもたちが「やさしく かしこく たくましく」成長していけるよう、教職員一同、全力で子どもたちを支援し、「わくわくと笑顔があふれる学校」にしてまいります。本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。